

新宮山彦ぐるーぶ 第1769回

行仙宿・新翔高等学校生徒研修の下見と

熊野修験春峰第三回(玉置山く前鬼)の事前荷上協力

◇実施日：平成26年6月8日(日)；晴

◇参加者：沖崎吉信、畑林秀味、

辻本 宏(新宮市市議会議員)

野間 清(新翔高等学校教員)

計4名。

去る5月16日、NHK和歌山放送局・夕方の「あすのWAI!」で、我々新宮山彦ぐるーぶの活動の一端が8く9分放映された。

早速、翌日近所の方や山仲間から又、久しく会っていない方からも電話を頂いた。やはりテレビの力はすごいと実感。

・どえらいことしーやるんやね

・なかなか男前に映っていたと

・場所はどこ、いつからやっているの、などなど

放送があつて何日か経って、新翔高校の野間先生から建築科のクラブ活動の一環で生徒にも体験させたい、ご検討願いたい旨の電話があつた。

その後面談、電話で説明、協議するも一度事前に下見をして、評価はその後となった。

高校の後輩で市議の辻本 宏氏の参加申出もあり、今週(14日・土)熊野修験が行仙宿利用の為、事前荷上する畑林君を加え4名で本日の行事となった。

すばらしい天気の中、各々が各10kg強の1斗缶を背に小屋へ。

荷上初体験の辻本、野間の両氏も少々バテ気味も、予定の1時間で行仙宿小屋に到着する。

行者堂、行仙宿小屋、管理棟を案内し、その建築経緯や玉岡前代表の苦労話などをさせてもらった。

畑林君を残し3人で行仙岳へ。今歩いている道が世界遺産の奥駈道なんですかと、興味津々のご様子であった。

小屋へ戻り昼食・雑談と14時前迄小屋に滞在。

先生と「7月中旬頃、薪割り、間伐材の皮むき、水汲みの体験。参加生徒は2く3人位」との話になった。

翌日、野間先生から電話が入り、14日の熊野修験の行仙宿泊時の荷上も生徒と参加したいと申出をいただいた。

熊野修験・担当責任者の山上さんに連絡、ありがたいとの事。又、NHKも生徒による荷上と行仙宿、持経宿の接待を取材検討中の連絡があつた(11日現在未定)。

尚、6月7日(土)池郷林道下見の結果、通行可能を確認した。

ゲート迄20分、ゲートから持経宿迄20分。計約40分のイメージです。落石・落木があり、ジョレン・鋸は必携です。

(記 沖崎)